

科目名		公衆衛生看護学概論	教員名	鈴木悠主 長堀智香子	学科等	看護	必修	履修年次	2	
(科目番号)		(時間割参照)			曜日・時限等	時間割表参照	単位数	2		
					授業形態	講義	オフィスアワー	授業開始時に提示		
授業概要		地域で生活している人々の健康の維持・増進及びQOL向上のための公衆衛生看護の基本的な考え方や目的、対象、活動分野、方法等について学ぶ。公衆衛生看護の概念やプライマリ・ヘルスケアおよびヘルスプロモーション等の理念、歴史の変遷、公衆衛生看護活動を担う看護職の役割と保健医療福祉行政等、公衆衛生看護に関する総論を学ぶ。								
目的・目標		目的 公衆衛生看護活動の理念を理解する。また、地域住民を捉える視点および予防的視点から健康水準の向上を目指す。公衆衛生看護職の役割を理解する。 目標 ①公衆衛生看護の理念や目的、対象、活動の場と展開方法を理解する。 ②社会環境と健康との関連や環境変化にともなう健康課題への公衆衛生看護活動について学修する。								
準備学習		毎回の授業について少なくとも1時間程度の予習・復習をすること。								
授業計画	回	授業項目	到達目標・学習内容							
	1	オリエンテーション 公衆衛生看護とは①	到達目標:公衆衛生看護の基本理念と定義が理解できる。 学習内容:プライマリヘルスケア、ヘルスプロモーションの変遷と公衆衛生看護の定義を学習する。							
	2	公衆衛生看護とは②	到達目標:公衆衛生看護の基盤となる概念、活動の理念と倫理が理解できる。 学習内容:社会的公正などの概念、公衆衛生看護の理念、倫理原則と意思決定を学習する。							
	3	公衆衛生看護の歴史	到達目標:日本における公衆衛生看護の歴史について理解できる。 学習内容:日本における公衆衛生看護の歴史の変遷についてグループ学習を行う。 学習成果を発表し、学びを深める。							
	4									
	5	公衆衛生看護の対象	到達目標:公衆衛生看護の対象と役割について理解できる。 学習内容:公衆衛生看護の活動の場と対象に応じた支援内容について学習する。							
	6	公衆衛生看護活動の展望	到達目標:今後の公衆衛生看護活動の課題と展望について理解できる。 学習内容:公衆衛生看護における国際協力や今後の課題について学習する。							
	7	予防の概念と健康に影響する社会的要因①	到達目標:予防の概念と活動方法について理解できる。 学習内容:一次予防、二次予防、三次予防及びポピュレーションアプローチとハイリスクアプローチについて学習する。							
	8	予防の概念と健康に影響する社会的要因②	到達目標:社会環境の変化と健康課題の関連について理解できる。 学習内容:人口・社会・疾病構造の変化と健康課題、健康の社会的決定要因、環境の変化と健康課題について学習する。							
	9	公衆衛生看護活動の展開	到達目標:公衆衛生看護活動の展開方法を理解できる。 学習内容:個人・家族・集団支援、地域診断、事業化、施策化、システム化について学習する。							
	10	公衆衛生看護活動と理論・モデル	到達目標:地域診断の一連の流れと理論について基礎的な内容を理解できる。 学習内容:コミュニティ・アズ・パートナーモデルを活用した地域診断事例を学習する。							
	11	公衆衛生看護活動①	到達目標:個別的アプローチから集団的アプローチへの展開方法を理解できる。 学習内容:事例から公衆衛生看護活動の特性について学習する。							
	12	公衆衛生看護活動②	到達目標:公衆衛生看護の集団的アプローチについて理解できる。 学習内容:健康診査、健康教育、グループ支援等について学習する。							
	13	公衆衛生看護活動の実際① 外部講師	到達目標:個人・家族・集団・地域を対象とした公衆衛生看護活動を考えることができる。 学習内容:市町村保健師の活動内容について学習する。							
	14	公衆衛生看護活動の実際② 外部講師	到達目標:個人・家族・集団・地域を対象とした公衆衛生看護活動を考えることができる。 学習内容:都道府県保健師の活動内容について学習する。							
	15	健康危機管理	到達目標:健康危機管理の基本と災害時の公衆衛生看護活動の役割を理解できる。 学習内容:健康危機の定義、災害サイクルに応じた保健活動と支援体制の概要を学習する。							
成績評価の方法・基準		対面時:定期試験84%、ワークシート提出16% オンライン時:ワークシート提出100%								
教科書		保健学講座 第1巻 公衆衛生看護学概論 第1版			村嶋幸代 他 編		メヂカルフレンド社			
参考図書		随時紹介する								
教員からのメッセージ		公衆衛生学をベースとして看護学を統合した科目となります。具体的な看護活動につながる用語や概念が多く出てきますので、事前・事後の自己学習が重要です。積極的な授業参加を期待します。行政等で勤務経験のある保健師がこの授業を担当します。								